

一般社団法人東京都ホッケー協会  
2019年度 第9回理事会議事録

日時：2020年3月14日（土）9:30～11:30

場所：駒沢総合運動場第3控室

出席：（理事）一川邦彦、右川誠治、河原茂光、菅野芳哉、正田実、多氣洋平、和田明仁  
以上7名の理事の出席を得て開催された。

【承認事項】

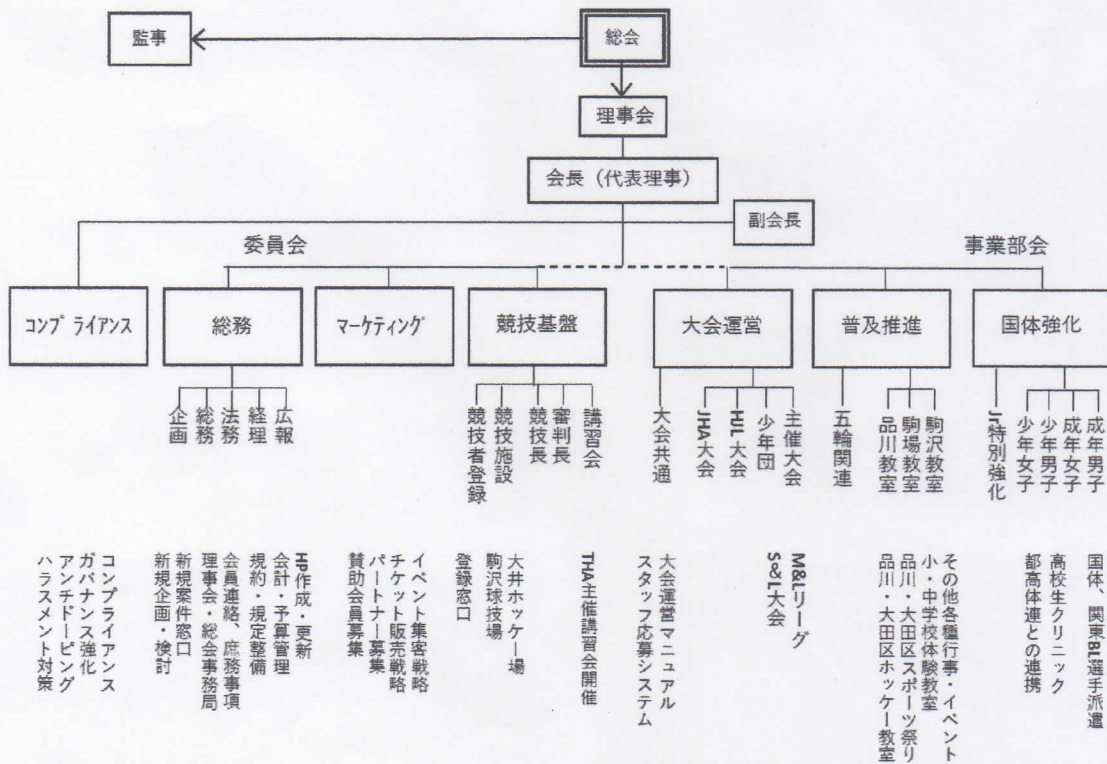
1. 議事録承認

第8回理事会議事録を承認した。

2. 2020年度業務執行について

(1) 組織について

昨年末からの数回にわたる理事会及び連絡会での議論を通じて、THAとして注力すべき事業とされた「大会運営」「普及推進」「国体強化」を3本柱として事業部会とし、これらの3本柱を支える事務局機能を強化する組織とした。



THA組織図 (2020/4/1)

従来からの変更点は以下の通りである。

「大会運営」については「東京 2020」後の大井ホッケー場での 23 大会 75,000 人の利用という命題に応えるべく、実際の大会の運営に係わる「大会運営」と大会運営及び大井・駒沢等の施設利用、備品整備、競技者・競技役員登録支援等々の競技を行うためのインフラを支える「競技基盤」に分けた。

更に「大会運営」は大会毎に早い時期から運営統括責任者を指名し、企画・予算・資金・広報・チケット販売から当日の大会運営までを一元的に進められるようにすると共に、各大会で共通する大会運営マニュアル（タイムスケジュール、施設・要員配置図等、関係者名簿等）及び支援スタッフ応募システムを整備する。

「普及推進」については「東京 2020」を控え、品川区・大田区でのホッケー体験教室を「五輪関連」として実施してきたが、2020 年度は「五輪関連」としての活動はほぼ終了するので、文字通り「普及推進」に絞って実施する。また「普及推進」もこれまではホッケー経験者の掘り起こしにも注力してきたが、これらは大会運営の中での THA 自主開催事業に位置付け、小・中学生へのホッケーの普及に力を注ぎたい。

具体的には「品川ホッケー教室」「駒沢ホッケー教室」「駒場ホッケー教室」であり、今後はグラウンドを持つ地域・大学等へも活動の枠を拡大して行きたい。

「国体強化」は都体協からの交付金で実施してきた事業であり、都体協からも本戦出場を望まれており、長期的強化戦略を示すように求められている。THA 自身としても、国体チームは子供達からも応援されるチームに、国体選手は子供達が憧れる存在になって欲しいと願っている。

長期的な視点から、「普及推進」活動でホッケーに関心を持ってくれた子供たちの中から「少年団」の結成が進みつつあるが、更に「少年団」の中でも有望な選手を「ジュニア特別」強化事業交付金の一部を使って、育てて行きたいと考えている。

これら 3 事業が良い連携を保ち、連鎖が生まれ、東京都のホッケーの普及・発展につなげるためには「総務」「競技基盤」「マーケティング」「コンプライアンス」の各委員会が機能する事が重要である事は言うまでもない。なお、個別人事については現段階では未定のところもあり、追って公表する事としたい。

## (2) 予算について

新型コロナの影響もあり、予算が組みにくい状況ではあるが、予算がないと業務執行が出来ない仕組みである事から、新年度に備え概算予算、併せて国体強化予算の大筋を決定した。前述したように国体強化予算についてはジュニア特別強化事業費の一部（約 50 万円）を小・中学生の強化に充てる事としている。

## 3. 定時総会について (1)

定時総会の開催日を JHA 総会の 1 週間後の 6 月 20 日を予定する。

議案については次回理事会で議論する事とする。

理事改選期であり、連絡会でも理事推薦を各正会員に求めているところであり、現理事においても再任にあたっては推薦状が必要である事を確認した。

【協議事項】

1. 新型コロナ対応について


新型コロナの影響で多くの大会・イベントが中止や延期に追い込まれており、今後の対応、THAとしての活動について情報交換を行った。

次回理事会日程：2020年4月11日（土）を予定する。

上記決議を確認するため、本議事録が作成され、会長及び監事が署名捺印した。

2020年3月14日

一般社団法人東京都ホッケー協会  
会長  
和田 明仁

和田明仁 

監事  
箸本 明雄

箸本明雄 